



## 峡南医療センター 開院！ ～地域医療の充実を目指して～

富士川町議会

検索

■ 3月定例会で決まったこと	2
■ 委員会レポート	4
■ 議会改革	6
■ 一般質問( 5議員が登壇 )	11
■ ふじかわ昔ばなし	16

平成26年度

一般会計予算

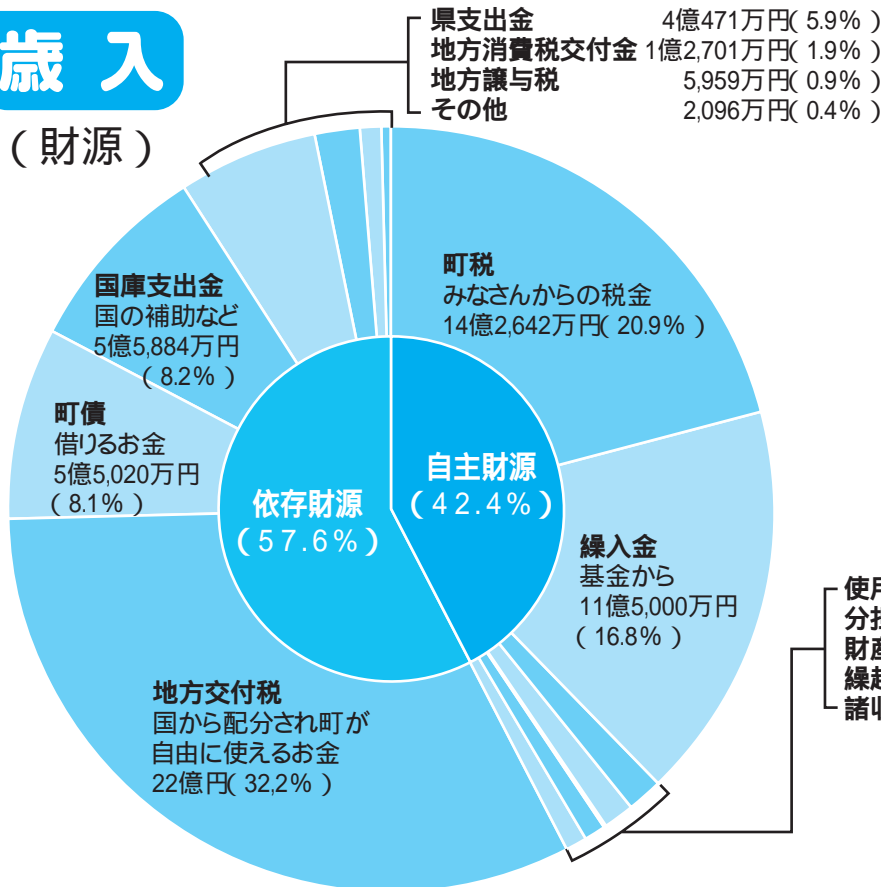
# 68億3103万円

平成26年度当初予算は4月に町長および町議会議員選挙があるため、政策的予算を除いた経常的経費で編成された骨格予算となりました。

平成26年3月定例会が3月7日から17日までの会期で開催されました。  
25年度補正予算、条例の制定・一部改正、26年度一般会計予算など町から提出された48の議案を審議し、すべて原案のとおり可決しました。  
また、議会改革特別委員会が提案した政務活動費交付に関する条例の制定、議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正も原案のとおり可決しました。

## 歳入

(財源)



使用料・手数料	1億425万円	1.5%
分担金・負担金	9,026万円	1.3%
財産収入ほか	1,141万円	0.1%
繰越金	6,341万円	0.9%
諸収入	6,397万円	0.9%

その他  
4億3,747万円 (6.4%)  
【27,342円】

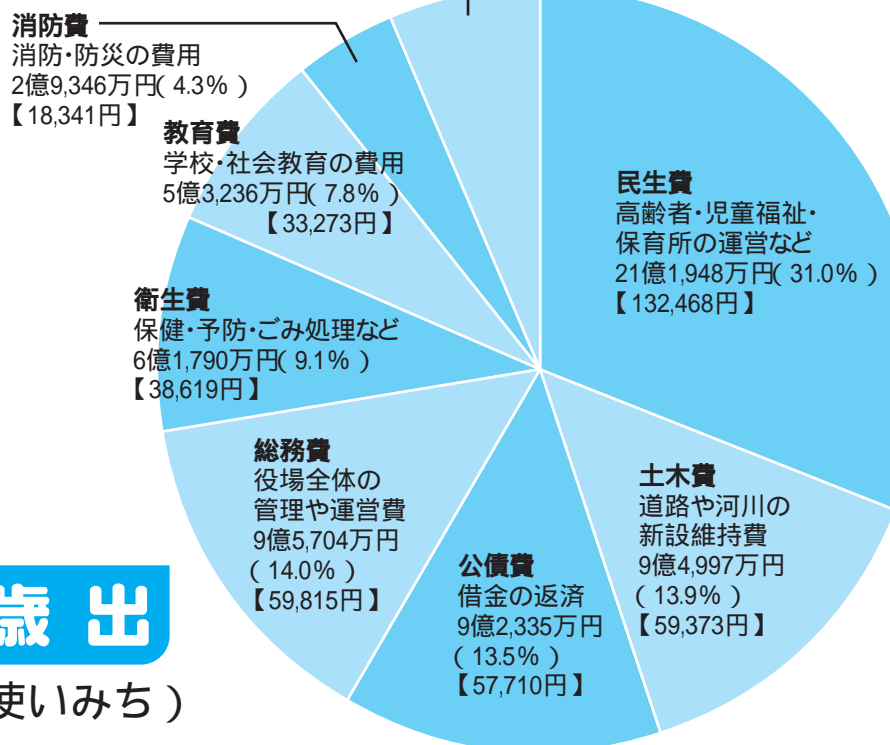
【 】内の数字は全人口1万6千人で割った町民1人当たりのお金です。



穂積柚太郎と柚香ちゃん  
(穂積地区のキャラクター)

## 歳出

(使いみち)



# 新年度の注目事業

## 総務常任委員会

- ・町制施行5周年記念事業
- ・地域力創造交付金制度の継続
- ・議場マイクシステム整備工事
- ・各種自主公演事業（文化ホール）
- ・地域公共交通事業



5周年記念事業で開催予定の山車巡行



充実が進むリサイクルステーション

## 教育厚生常任委員会

- ・増穂小学校太陽光発電設置工事に伴う屋上屋根改修工事
- ・地域生活支援事業
- ・障がい者総合支援金給付費
- ・太陽光発電システム設置補助金
- ・リサイクルステーション設置費
- ・臨時福祉給付金給付事業（創設）
- ・子育て世帯臨時特例給付金給付事業（創設）

## 産業建設常任委員会

- ・平林伊奈ヶ湖道路改良工事
- ・青柳長沢線道路改良工事
- ・青柳1号線道路改良工事
- ・道の駅建設工事（平成26年7月オープン予定）
- ・新規就農給付支援事業
- ・遊休農地利活用事業
- ・鳥獣害防止対策費
- ・商店街創出支援事業



開業が待たれる道の駅富士川

### 平成26年度特別会計予算

・国民健康保険	17億7,944万6千円	・営農飲雑用水事業	353万6千円
・後期高齢者医療	3億5,355万3千円	・箱原農業集落排水事業	1,306万4千円
・介護保険	17億6,416万0千円	・鹿島財産区	5万0千円
・介護サービス事業	1億377万8千円	・カラマツオ外三十山恩賜林保護財産区	51万4千円
・奨学金	72万0千円	・峡南地区ことばの教室共同設置	173万3千円
・簡易水道事業	1億4,736万2千円	・峡南地区充指導主事共同設置	90万4千円
・下水道事業	9億4,135万7千円	・水道事業会計	4億1,496万5千円

# 委員会レポート

総務常任委員会

町たばこ税の増加要因は

答 税率が25年4月に変わり、県税分が減額し市町村税分が増加した。9、588万円増で178万円増加する見込みである。

コンビニ納付手数料は何件分見込んでいるか

答 26年度は10、500件見込み、一件当り外税で64円80銭となる。

大雪で消火栓の場所の表示に何か対策は

答 分かりやすい表示などの検討を行い対応する。



分かりやすい表示を

26年度嘱託・臨時職員の数と総額は

答 122人、3億729万円である。

地域コミュニティ貸付の利用状況は

答 利用された地区はないが、相談をいただいている地区はある。

教育厚生常任委員会

スクールバス3台の運行計画は

答 26人乗りで平林線1台、中部・五開線2台を使用する。乗車対象者は小中学生および保育園児とし、時刻表は利用者に周知する。

子育て世帯臨時特例給付金は

答 中所得者世帯を対象として、児童1人当り1万円を児童手当受給者に支給する。

臨時福祉給付金は

答 市町村民税非課税世帯を対象に単身世帯、高齢世帯等に1万円を支給する。



4月から運行のスクールバス

鯉沢小中学校のプールの完成は

答 6月下旬を予定。

デマンドバスの運行は

答 運行区域を鯉沢地区へも拡大する予定である。

ゴミ袋、二種類の内容は

答 30リットルと15リットルをつくる予定である。

簡水石綿管改修工事の計画は

答 平成26年度に実施設計、27年度に改修工事を予定している。

鵜沢本町地区簡易水道の上水道への統合は

答 平成28年度に統合を計画している。

新規就農総合支援事業の利用者は何人か

答 24年度からの継続者1人と、新規1人を予定、申請は随時可能である。

橋梁長寿命化の修繕計画は

答 診断の結果、118橋の修繕が必要、26年度は2橋の修繕設計費を計上。

5周年記念事業のトレッキング大会の内容は

答 道の駅を発着とし、小室・平林をめぐる約40kmのコースを検討している。



橋梁長寿命化の点検調査

今定例会で可決した主なものは次のとおりです。

条例制定

- ・直売所条例
  - ・道の駅富士土川条例
  - ・鵜沢町有林財産区議会設置条例
  - ・羽鹿島財産区議会設置条例
  - ・議会政務活動費の交付に関する条例
- 条例の一部改正

- ・町営バス設置条例
- ・特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例
- ・職員給与条例
- ・特別会計設置条例
- ・社会体育施設条例
- ・児童センター条例
- ・町有住宅管理条例
- ・消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う関係条例の整理に関する条例
- ・議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例
- ・条例の廃止
- ・穂積地区多目的集会施設条例を廃止する条例
- ・不動産譲与
- ・ゆずの里ふれあいセンターの譲与
- ・同意
- ・小室区・高下区へ
- ・人権擁護委員（再任）
- ・佐々木勝利氏（鵜沢中）
- ・意見書提出
- ・平成26年2月の大雪災害に関する意見書（詳細は下記）

意見書  
大雪災害に  
関する意見書  
要望事項

- 1 降雪時、安全な道路交通を確保するため、国道や県道の降雪対策を進めること。
- 2 効率的で迅速な除雪を行うために、道路管理者ごとの除雪でなく、一元的な対応が取れるシステムを構築すること。
- 3 町道や農道の除雪経費、除雪用機材や融雪剤等の購入経費、高齢者世帯や孤立世帯等の除雪支援に対する財源措置を行うこと。
- 4 被災農業者支援について、これまでの支援対策をさらに拡大し、解体撤去、再建等に対する支援や必要経費の全額補助を積極的に行うこと。
- 5 大雪災害に伴う再建費用への消費税率引き上げの軽減措置を講ずること。
- 6 今回の大雪災害に対し、特別交付税の増額と弾力的な財政支援を行うこと。

# 議会改革の歩み

合併から4年。議会改革特別委員会が設置され議論を重ねていくなかで、両町議会のそれぞれのカラーが融合されながら、富士川町議会としての特色ある議会像をつくり上げてきた4年間でした。一期4年間の議会改革特別委員会の活動を振り返ってみました。

## この4年間で議論されてきたこと

全議員が参加のもと、ほぼ毎月1回議会改革特別委員会が開かれ、議員の資質の向上や開かれた議会を目指して話し合いを重ねてきました。どんなことが議論され、何が実現されたのか、この4年間で振り返ります。

### 年1回休日議会を開催

平日に傍聴できない方にも議会の活動を知ってもらい、議会を身近に感じてもらうことを目的に行いました。

### 地区懇談会を実施

議員が地区に出向き、直接町民と対話することで、町民のみなさんに議会を身近に感じてもらうと同時に、町民の生の声を聞くことを目的に実施しています。

### 議員定数の見直しは採決で否決

議員定数を現状の16人から14人にすべきか、多くの時間をかけて議論しましたが、最終的には本会議場で議員提案され、反対・賛成の討論を行い、採決して結論を出しました。結果は議員定数の見直し案は否決され、現状の16人に決まりました。（「議会だより」第12号参照）

### 予算・決算の特別委員会による審査方式の導入

もっと議員同士で議論をする場がほしいという意見を受け、予算・決算審議で特別委員会による審査方式が導入されました。

### 議員報酬の見直し

山梨県は全国47都道府県の町議会の中で最低の報酬額になっています。今後若い人たちに議員になってもらうためにも報酬の見直しをすべきという議論がありましたが、一つの町だけで実施にいたるのは難しい面もあるため、県の議長会などへの積極的な働きかけをしていくことになりました。

### 各種審議会などへの議員の参画の見直し

審議内容について、議会でも議論するようなものであるなら、最初からその審議会委員に議員は入らならないほうが良いのではないかと、各常任委員会でも所管の委員会について検討しました。任期があるので、実施は26年度に持ち越すことになりました。

### 議会基本条例の制定

議会基本条例の制定を目標としてあげましたが、議論が煮詰まらず策定までには至りませんでした。

# 議会改革 特別委員会

## 総括!!

### 3月定例会で決まったこと

政務活動費の創設、費用弁償の見直しは、議会改革特別委員会での長い間の懸案事項でしたが、今議会でようやく結論を出すことができました。



富士川町議会議場

## 政務活動費の交付が決まる

政務活動費は、町政に関する調査研究やその他の活動に必要な経費の一部を交付し、議員活動の活性化と議会の審議能力の強化を図るために交付されるものです。本町では、政務活動を「議員が行う調査研究、研修、広報、広聴、住民相談、要請、陳情、各種会議への参加」と定義づけ、使える経費を特定しています。政務活動費の詳細な使い方をマニュアルにした「政務活動費の手引き」を作成し、適正な取り扱いと経理を明確にしました。

富士川町議会政務活動費の交付に関する条例の制定で、富士川町では議員一人あた

り年額9万円を交付することになりました。交付を受けた政務活動費は、毎年度末、領収書等の証拠書類を添付した収支報告書により清算し、剰余金が生じた場合は返還することとしています。この収支報告書は、町民へ公表されることとなります。

なお、政務活動費の年額9万円については、特別職報酬等審議会から適当であるとの答申をいただきましたが、併せて「活動費の適正な運用としっかりとしたチェック、また、この活動費を活用して、議員活動を活発にしてほしい。」との要望が出されました。

## 費用弁償の見直し決まる

「費用弁償」については、これまで「議員が議会の招集に応じ、もしくは各委員会に出席したとき」に、日額1,200円の支給を受けてきました。この費用弁償は、金額の積算根拠があいまいで、町民の理解を得るのが難しく、ともすれば報酬の二重取り

との批判を受けたりしてきました。

そこで、このたび議会が自ら定額制の費用弁償を改め、実際に要した実費の交通費だけを受給するとした内容に条例を改正しました。

平成25年度  
一般会計  
補正予算

## 国の補正予算に伴う追加補正

# 道整備交付金5路線に 1億5,520万円

# 増穂小・鰍沢中太陽光発電に 5,396万円

1億6,314万円の増額補正

総額81億4,369万円

### その他の主な補正予算

国民健康保険特別会計繰出金	651万円
介護保険特別会計繰出金	234万円
後期高齢者医療特別会計繰出金	221万円
保育所広域入所委託料	205万円
峡南北部二病院統合事務組合負担金	295万円
峡南医療センター出資金	1億5,517万円
簡易水道事業特別会計繰出金	253万円
長沢第5揚水機場ポンプ取替工事	250万円
下水道事業特別会計繰出金	3,008万円
高下治山堰堤災害復旧工事費	180万円
過疎地域自立促進基金積立金	2,510万円

### 道整備交付金内訳

- ・平林伊奈ヶ湖線道路改良工事
- ・大柵大久保線道路改良工事
- ・青柳長沢線道路改良工事
- ・青柳1号線道路改良工事
- ・青柳11号線道路改良工事



青柳11号線道路改良工事  
(フォレストモール富士川南側)

2月の記録的な大雪により、除雪は大変な労力を要した。大雪により除雪が思うように進まず、多くの方に不便をかけたが、委託業者の昼夜を分かたずの作業と、住民の皆さまのご協力で、孤立状況を短期に回避することができた。130cmを超える大雪でさらに除雪経費が増え、最終的には3千万円追加補正する予定の説明を受けた。

### 除雪費用 1052万円を専決補正

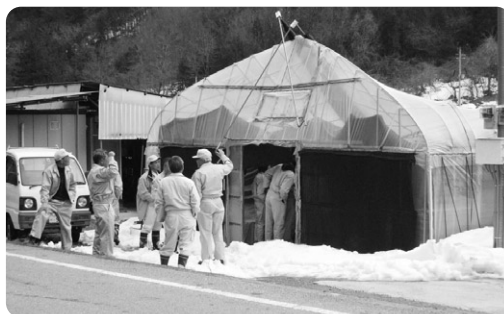
3月4日、被害のあった農業施設、避難指示が出された雪崩危険箇所、除雪の雪捨て場等の視察を行った。視察後、被害における対応等について協議を行い、定例会最終日に大雪災害に関する意見書を可決し、国・県の関係機関に提出した。

### 大雪被害現地視察

2月の豪雪では多くの方が被害に遭われました。お見舞い申し上げます。

2月7日、第1回臨時会が開催された。一般会計補正予算として、火災により焼失した選挙用記載台購入費140万円、簡易水道事業特別会計の補正予算繰越明許費790万円、道の駅外構工事請負変更契約の締結についてが可決された。

### 第1回臨時会



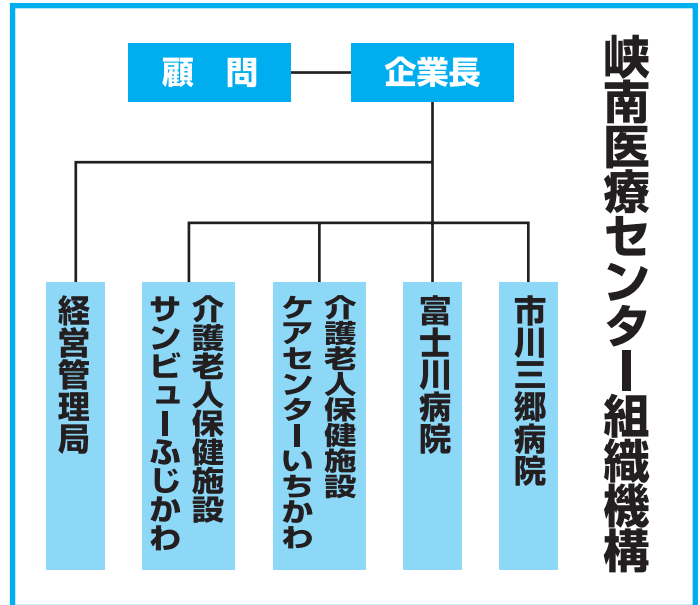
被害を受けたビニールハウス

# 峡南医療センター開設!!

## 富士川病院、市川三郷病院がスタート!



関係者を集めての開設記念式典



**富士川病院**

病床数

- 一般病床 154床
- 感染症病床 4床

診療科目

- 内科
- 外科
- 小児科
- 整形外科
- 脳神経外科
- リハビリ科
- 皮膚科
- 放射線科
- 病理診断科

(4月1日 常勤医師13名)

**市川三郷病院**

病床数

- 一般病床 40床
- 療養病床 40床

診療科目

- 内科
- 外科
- 小児科
- 整形外科
- 脳神経外科
- リハビリ科
- 泌尿器科
- 皮膚科
- 婦人科
- 眼科
- 耳鼻咽喉科
- 放射線科

(4月1日 常勤医師8名)

峡南医療センター診療科一覧  
医師数は4人増



新名称で標示された病院

### 平成26年度 峡南医療センターの収支計画 (単位:千円)

収 益	病院事業収益	医業収益	36億5,061万6
		医業外収益	3億4,599万7
	介護老人保健施設事業収益	事業収益	8億4,702万8
		事業外収益	1,290万5
合計		48億5,654万6	
費 用	病院事業費用	医業費用	43億117万6
		医業外費用	1,601万1
	介護老人保健施設事業費用	事業費用	8億9,707万6
		事業外費用	2,575万8
合計		52億4,002万1	

企業団の条例28件制定

26年度会計予算も可決

3月27日、峡南北部二病院統  
合事務組合の臨時議会が開催さ  
れ、企業団の条例および26年度  
会計予算が可決された。

26年度

# 組合議会報告

## 各広域行政組合の予算を可決

### 峡南広域行政組合

平成26年度峡南広域行政組合負担金

	一般分等負担金	町村電算システム負担金	広域ネット運営費負担金
富士川町	3億3,092万円	2,883万円	680万円
市川三郷町	3億3,749万円	3,287万円	772万円
早川町	7,965万円	1,854万円	448万円
身延町	3億3,253万円	3,426万円	711万円
南部町	2億2,583万円	2,687万円	1,116万円
合計	13億642万円	1億4,137万円	3,727万円



峡南5町の広域電算システム・ネットワーク



三郡衛生し尿処理場

### 三郡衛生組合

平成26年度三郡衛生組合負担金

	一般会計	し尿処理場	火葬場	合計
富士川町	308万円	4,264万円	2,040万円	6,612万円
市川三郷町	278万円	3,506万円	1,850万円	5,634万円
南アルプス市	781万円	1億4,634万円	8,135万円	2億3,550万円
中央市	157万円	0	4,049万円	4,206万円
昭和町	118万円	0	2,675万円	2,793万円
合計	1,642万円	2億2,404万円	1億8,749万円	4億2,795万円

### 中巨摩地区広域事務組合

平成26年度中巨摩地区広域事務組合予算

年度	会計	一般会計	ごみ処理事業	地区公園事業	老人福祉事業	勤労青年センター事業	し尿処理事業	合計
本年度		4,085万円	32億9,482万円	888万円	2,813万円	4,983万円	2億3,696万円	36億5,946万円
前年度		3,559万円	20億8,682万円	859万円	3,346万円	5,028万円	2億4,043万円	24億5,517万円
比較		526万円	12億800万円	29万円	533万円	45万円	347万円	12億429万円
本町負担金		322万円	9,322万円	80万円	237万円	401万円	0	1億362万円

富士川町負担金は昨年の9,748万円から1億362万円と6.3%の増額となった。理由は老朽化した焼却施設の改良工事に平成25年度から取り組んでおり、そのため負担金が増額となった。改良工事は27年度までの3カ年計画であるが、総事業費約42億円のため今後負担金が増えることが予想される。

### 議会広報モニター募集

町議会では、町内在住の20歳以上の方（町職員・町議会議員とその家族を除く）で、議会だよりの批評や提言、情報の提供をしていただけのモニターを次により募集します。

募集人員 8人  
任 期 1年間  
募集期間 平成26年5月20日  
お問い合わせ・応募先  
議会事務局  
0556(22)7211

### 後期高齢者医療広域連合議会

平成26年第1回定例会が2月21日に開催され、以下のとおり可決した。

平成25年度特別会計補正予算  
歳入歳出を1,443万1千円増額し、945億6,073万8千円とする。  
平成26年度特別会計予算  
歳入歳出を940億7,625万2千円と定める。

# 町政を問う 一般質問

齊藤欽也 議員



**問** 除雪対策が遅れたのはなぜか

**答** 道路管理の違いで円滑にできなかった

**問** 2月14日から15日にかけて降り続いた歴史的な大雪で、15日は一步も出られない状況であった。2月8日の記録的大雪の時もそうであるが、町民からは除雪が遅すぎるとの苦情が多数寄せられた。

8日の時、南湖の通りは除雪されていたが、夕方には車のわだちができて交互通行が危険な状況であった。しかし、14日夕方6時の時点ではしっかりと除雪され、わだちもなく交互通行がスムーズにできた。富士川町に入ると前回同様、踏みしめられた雪の上を一車線通行できる程度であった。なぜ、除雪の対応が遅かったのか。

**町長** 国道は国、県道は県町道は町が管理している。また甲府のほうは中北建設事務所、富士川町は峡南建設事務所が管理しており、予算も分かれている。

除雪するには国道や県道を通らなければならず、重機のある場所によっても除雪の順序が変わる。一概に

この道からというわけにはいかない。その違いである。

## 業者への依頼は

**建設課長** 区長を通して各路線を業者と委託契約しており、10cmを越えたら除雪していただくことになっていく。今回も前日に業者に指示した。一度かいたが雪が多すぎたので、やんで行うことにした。130cmの大雪だったので作業が進まなかった。

**問** 16日には甲西・若草地区は細い道まで除雪されて



ガスト交差点、追分交差点付近の様子



いた。18日になって役場職員が雪捨て場として戸川を見に来た。それから街中の除雪が始まったが。

**町長** 15・16日は幹線道路の確保と孤立集落の防止に重点を置いた。そのころ県から河川に捨てても良いと連絡が入った。戸川と利根川公園プール駐車場を雪捨て場にした。

**問** 「幹線道路から除雪していきなす。側溝に雪を捨てないで下さい」。この言葉が15日から連日繰り返され、防炎無線で流されたが、町の状況は伝えられず住民生活は困窮した。除雪状況等を伝えるべきではなかったか。

**町長** 一車線確保が優先で車によっては通行できない。また国道・県道の状況もある。情報伝達が難しかった。区長には優先的に除雪する路線図が渡してあるので、地域住民に周知していただければと思う。今後は国・県との除雪方法や道路情報の共有化を図ることが反省点である。

**問** 富士川病院4月からの  
内科入院は可能か

**答** 3・4階で入院患者を  
受け入れる予定



秋山 貢 議員

**問** 富士川病院では、内科の入院は4月オープン時からできるのか。また、どのくらいの入院患者の受け入れが可能か伺う。

**町長** 3・4階で入院患者を受け入れる予定でいる。病室の空き具合により、受け入れ可能人数が決まる。

**問** 峡南医療センター全体では、どの職種が何人くらい不足しているのか。

**福祉保健課長** 看護師が9名、薬剤師が3名不足している。不足職種は今後も募集していく。

**問** 2病院を経営するにあ



内科入院を受け入れる病室

たり、4月から6月に想定される現金の不足額と調達方法について伺う。

**福祉保健課長** 6月までの3カ月間は、診療報酬支払基金からの診療報酬がないため、約10億9千万円の現金の不足が生じると想定している。企業団が一時借入金で対応する。

**問** その場合、市中銀行で町の債務保証がないと貸せないといったようなときは、

両町でその保証をすることになるのか。

**町長** 運転資金の助成は考えていないが、企業団からそういった要請があれば、しなければならぬと思うている。

**問** 平成26年度の病院ごとの経営収支は、どのくらいを見込んでいるのか。

**町長** 二病院統合事務組合で平成26年度当初予算を作成中であり、現時点では、施

設ごとの具体的な数値は、示されていない。

**問** 26年度、27年度、町の負担はどれくらいになるのか伺う。

**福祉保健課長** 交付税以外の負担金は、両町で半分ずつ負担する。交付税にかかる負担金は、両町でルールを定めて負担することになる。

**問** 市川三郷病院の建て替えは、行われる計画なのか。

**福祉保健課長** 平成30年度に計画されている。

**大雪に対する町の対応は**

**問** 消火栓が雪に埋まって分からなくなってしまう。

標識の設置が必要ではないか。

**防災課長** 標識板の設置に向け、取り組みたい。

**問** 雪置き場を提供してくれた方に、町でお礼ができないか。

**建設課長** 今後とも、今回と同様な除雪対策を講じ、町の皆さまにもご協力をお願いしたい。

# 問 容器包装リサイクル法の見直しは

## 答 費用負担軽減のため 国に要望する

永井寛子 議員



**問** 今、容器包装リサイクル法改正に向けて、さまざまな方面から見直しの動きが活発になってきている。リサイクルに関わる経費が自治体にとって大きな負担になっているが、自治体と事業者の負担役割はどのようになっているのか伺う。

**町民生活課長** 容器包装リサイクル法では消費者、自治体、事業者の三者が一体となって容器包装廃棄物の削減に取り組むこととなっている。そのうち事業者はその事業において用いた容器包装についてリサイクル

を行う義務を負っている。ただ、ガラスビン、ペットボトル、紙製容器包装類、プラスチック製容器包装類については、企業にリサイクルの義務があるが、金属（缶類）、紙パック、ダンボール等に関しては有価物として有価処理するので、企業にリサイクルする義務はない。

**問** 現状では消費者の負担はなく、事業者も負担は軽くなっている。自治体の間では不公平感が募っており、



町の負担が増えているリサイクル費用

全国町村会や全国市長会などでは国に要望書を提出した。どのくらいの不公平感かと言えば、例えば京都市では500mlのペットボトル1本をリサイクルするのに、市町村は4・5円を負担するのに対し、事業者は0・05円、アルミ缶は市町村が1・7円、スチール缶は4・3円かかるが事業者は0円である。圧倒的に自治体負担しており、自治体はリサイクルすればするほど経費

が重くのしかかることになる。今、多くの自治体が国に対して容リ法の見直しを要望している。町長はゴミの減量化に大変熱心に取り組んでいる。独自に国への要望書を出してほしいと思うが、町長の考えを伺う。

**町長** 全国町村会が国へ要望書を出したのは、全国すべての町村の思いからきているのだと思っている。富士川町でもリサイクルにかかる費用は年々増加してきている。リサイクルにかかる総費用の8割が製品価格に入っていないことから、自治体の税金で処理しているかなければならないということである。

自治体負担を軽減するためにも、リサイクルにかかる費用を製品価格の中に入れてほしいというのが、国に対する要望の具体的な中身である。26年度も国・県への要望事項がとりまとめられるので、富士川町としても国への要望を考えていきたい。

## 問 町長が病院問題に取り組んだ理由は

## 答 医療はまちづくりの根幹と考える



市川 淳子 議員

**問** 平成26年4月に開院する「峡南医療センター」は、富士川町の町民のみならず、峡南地域住民の待望の病院施設である。ここに至るまでの道のりは決して容易ではなかったが、あらためてこの峡南の地に「峡南医療センター」を開院した意義と、どんな病院にしていきたいのか伺う。

**町長** 経営形態の異なる2つの病院の統合は大変困難な道のりだった。賛成反対という紆余曲折もあった。しかし、そうした議論を経てやっと26年4月から、地

域完結型医療を基本方針とした「峡南医療センター」がオープンできる運びとなった。

新たに出発する医療センターの意義は、2病院2介護施設が一体となって、医療からケア機能までの強化および経営改革を図りながら、地域住民に期待される医療サービスが提供されることである。

**問** 「峡南医療センター」の存在は、町民に安心感をもたらすと同時に、おらが町の病院ということ、いろいろいふ要望の声が上がる。一方、病院側も町民に伝えたいことも出てくる。医療の問題は、非常に課題が多い。医師の過重労働、医師不足、臨床研修制度による都市部への集中、患者のモラルの低下など。それは行政と医療機関関係者だけが対策を考えるのではなく、住民も巻き込み一緒に考えていかなければ、地方の病院はやっていけないと言われている。オーナーである町は、町民の声を積極的に吸い上げる

と同時に、病院側の情報も流していくような仕組みづくりが必要だと思うが。

**町長** 実際の医療センターの業務は企業団が行い、町との関わりは福祉保健課がやっっていくことになる。町が出資をしている病院なので、市川三郷町とも同じような要望が出せるよう連携を図りながらできればと思う。

**問** 企業団に外部委員会設置の項目があるが、その役割や目的を町はどのように考えているのか。

福祉保健課長 外部委員会

の性格は、議会とは違って議決事項に強制力はないが、病院運営に関する専門性を有する7名以内の有識者としてい。例として公認会計士・税理士等の学識経験者や企業・医師会等の代表者などが挙げられる。

**町長** 外部委員会には、地域のニーズの吸い上げや、病院経営を外部から見ただけだと。詳細な数字まで出さないと評価していただけない。当然オープンにしていく。



峡南医療センターについて審議された二病院統合事務組合議会

# 問 富士山噴火を想定した 防災対応は

## 答 町の地域防災計画に 位置付ける

保坂 實 議員



**問** 霊峰富士山は世界遺産であると同時に、火山で「陽の当たる裏側に陰あり」と一向二面の顔がある。

富士山噴火の歴史をたどると、30年間に1回の割合で100回以上の噴火があり、直近では1703年、宝永の噴火以降300年間途絶え、地下のマグマ溜りには相当量貯えられていると想定される。

1150年前の貞観噴火では、噴出された大量の溶岩が山麓の集落を埋め、数多くの生命を奪い、本栖湖を分断して精進湖と西湖と



世界遺産であり活火山である富士山

青木ヶ原樹海を出現したと史実されている。

地震と噴火の関連性では311年前の元禄関東地震M8.2、4年後の宝永東海地震(M8.7)、その49日後に宝永大噴火が発生している。地震や噴火など、自然災害発生は人智を超え、抗すべき万策のないことを認識する必要がある。

富士山は玄武岩質火山で、

降灰はマグマが微粒化したガラス片状、目の角膜を傷つけ、呼吸疾患など健康被害の恐れがあり、農作物・交通・通信・電気・水源などのライフラインに大きな被害が想定される。

富士山直下には駿河トラフが延び、地下10km付近ではマグマ活動による低周波地震や、火山性微動が年間10数回観測され、南海トラ

フを震源とする地震と、富士山噴火が連動すると大災害になる危険がある。

最近、富士山噴火を想定した山梨・静岡・神奈川3県の富士山噴火防災計画が発表されたが、降灰被害への対応は。

**防災課長** 3県で構成する防災対策協議会で作成した火山広域避難計画では、火山灰は小さな粒子状の破片で、体内に入ると健康被害を起こす可能性があり、推積した火山灰を早急に収集・除去することが望ましいとされている。富士川町防災計画に、火山灰の收拾や防塵など降灰対策を位置づける。

**問** 峡南5町で受け入れられる5千人避難民への対応は。  
**防災課長** 県内8万5千人とも見込まれている避難民のうち、5千人を峡南5町で受け入れることになっているが、現段階では本町の具体的な役割は不明なので、協議会の結果を注視し検討したい。

# ふじかわ 昔ばなし

## 法論石

小室の土録にある大石で、横幅三、六メートル、奥行一、八メートル、高さ二、一メートルほどの石上にお堂が建てられており、「妙石山懸腰寺」という。

今から、七六七年前、真言宗修験者「恵頂阿闍梨・善智法印」が、東三十三国の山伏の頭領と称して、護国院金胎寺（今の小室山妙法寺）の住職となっていたが、そこへ日蓮上人が来てこの大石の上に座り、集まっていた村人に仏法を説き聞かせていた。

これを聞いた善智法印が怒って上人と会見し、種々法論を交わしたが、とても上人にはかなわない。そこで法印は、俺には真言の修法がある。俺の行力を見よといいなから、数珠をすつて般若心経を唱えると、日蓮上人が座っていた三メートル余りの大石が空中に昇り始めた。村人は驚いたが、上人は少しも騒がず法華経を読みお題目を唱えると、

三メートルばかり空中に昇った大石はそこでピタリと静止した。上人は、さあこの大石を空中に縛りとめたから、お前の法力で下してみよといった。法印は汗を流して祈禱したが、大石は空中に静止したままビクとも動かない。今度は上人が再びお経を読み九字を切ると、大石は空中から静かに地上に下りて、もとの位置に納まった。そこで善智法印も恐れ入って、上人の前にひれ伏してあやまり、弟子にしてくれと願った。

その後小室山は日蓮宗に改宗し、日蓮上人から徳榮山妙法寺の寺号を賜り、法印は名を日伝と改めた。

この大石を法論石、また

は吹上げ法論石と呼んでいる（増穂町誌から転載）

善智法印と日蓮上人の法論には後日談がある。法印はお弟子になつたものの恨みは晴れず、ある日法印は粟餅を持って上人を訪れた。上人は粟餅を受け取り、庭先に遊んでいた白犬に粟餅を与えたとこころ一声吠えて死んでしまった。粟餅に毒が入っていたのだ。

上人は、自分に代わつて死んだ白犬を蘇らせてあげようと、「毒消しの秘妙符」を与えると、見る間に息を吹き返した。法印は、上人に心の底から懺悔し、その後、立派なお弟子になつたそうだ。



妙法寺庫裡に掲げられている絵

## 議会クイズ

- 問題1. 26年一般会計予算総額は〇億〇万円。
- 問題2. 道の駅富士川は〇月オープン予定。
- 問題3. 富士川病院の一般病床数は〇床。

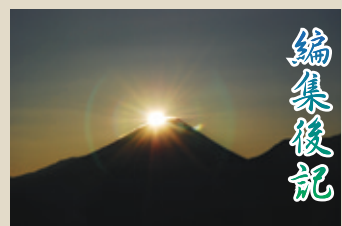
《景品》抽選で3名の方に図書券千円分を差し上げます。  
 《応募要領》必要事項を記入の上、ハガキにて応募ください。

・答え ・郵便番号 ・住所 ・氏名  
 ・年齢 ・電話番号 ・議会だよりの感想

《宛て先》〒400-0592 富士川町天神中條1134  
 富士川町議会事務局 行

《締め切り》平成26年6月末日(当日消印有効)  
 《当選者の発表》商品の発送をもって当選と代えさせていただきます。

前回の答え  
 (1)スクールバスは3台。(2)一般質問は10人登壇。  
 (3)24年太陽光発電補助実績は55件。



## 編集後記

富士川町が誕生して4年が経ちました。私たち1期目の議員の任期も終わり、このメンバーでの議会だよりの発行も最後となりました。

親しみやすく、読みやすい「議会だより」を心がけ、委員全員で協力してきました。次号からは、改選された新しい広報委員で発行していくことになり、さらに進化していくことになると思います。

4年間ありがとうございました。(鮫田洋平)

広報 常任委員会	委員長	神田 智	副委員長	鮫田 洋平
	委員	保坂 深澤	實 勝雄	井上 光三